

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		上水道配水施設等整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	水道局	課長名	久留 伸二
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	上下水道課	担当者名	松永 博貴
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	管理工務班	(内線)	1198
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	上水道の配水池等施設整備事業。昭和37年度から水道を計画的に整備し清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。水道利用者数(給水件数)は、平成13年3月31日現在(16、687件)から平成18年3月31日現在(18、155件)へ5年間で1、468件の増加、その後平成18年度末(18、769件)から平成22年度末(19、897件)までの3年間で1、128件増加し年々増加傾向にあり、それに伴い配水施設も増加している。昨年度は施設数に変化は無い。 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)
【業務の流れ】	上水道の配水池等施設整備のための工事発注等業務。①測量設計委託契約②実施設計書の作成③道路占用申請④工事請負契約の締結⑤上水道配水池等整備工事⑥竣工検査⑦支払い事務
【主な予算費目】	・建設改良費(営業設備費)工事請負費、委託料。
【意見や要望】	特に聞いていない。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
配水施設等設計業務	配水池設計業務委託配水施設等設計業務委託
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 上水道配水池等施設数	箇所 御代志配水池築造工事費を計上した為
イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
上水道配水池等施設。市営水道利用者。	(単位)
	→ ア 上水道配水池等施設数
	イ 市営水道利用者数
	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
安全で良質な水道水を安定的に供給する。	(単位)
	→ ア 水質、水圧への苦情に対する対応率
	イ %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
配水施設を整備する事により安定した水供給が可能となるため、成果指標である苦情等も減少すると考えられるため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	箇所	5	5	5	5	5	5	5
	イ								
② 対象指標	ア	箇所	5	5	5	5	5	5	5
	イ	人	47,491	47,991	48,491	49,206	49,706	49,800	49,900
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円					400,000	
		その他	千円	10,395	10,920	88,000	46,505	146,000	20,000
		繰入金	千円						
	一般財源	千円							
	(A) 事業費計	千円	10,395	10,920	88,000	46,505	546,000	20,000	20,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	人	5	5	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	1,018	600	900	470	900	900	900
	(B) 人件費計	千円	4,072	2,388	3,582	1,936	3,708	3,708	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	14,467	13,308	91,582	48,441	549,708	23,708	20,000

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	上水道配水施設等整備事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 配水池築造工事発注予定であるため。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 水圧等の苦情がないように管路の設計・水理計算の後整備を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 簡易水道との連携
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の予算で事業を行っているので削減余地は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 配水施設整備事業を維持するために必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 すべての水道使用者に受益機会があり、同様に費用負担があるので公平・公正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 インフラ整備であり、行政の行う事業として適正である。 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度に配水施設等設計業務を行っているので、23年度はこれを形にしていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						